



大自然に ありがとう

2月16日(金)甲賀西保育園の年長児が自然体験型環境学習で自然について学びました。

これは滋賀県環境学習支援センターが主催したもので、環境にこだわった地域づくりを進めている環境レイカーズの島川武治さんを指導者に近くの里山に出かけました。

島川さんから「みんなのまわりには空や雲、空気など自然がいっぱいです。」と説明を聞いた後、ロープ伝いや忍び足などの遊びを取り入れた忍者修行を通して身近な自然について勉強しました。

大自然を満喫した園児たちはみんなで空に向かって「ありがとう」を言いました。



▲島川さんから木の命について説明を受ける園児たち



▲ロープ伝いを体験する園児たち

※「環境レイカーズ」は英語の「laker=湖畔の住人」と琵琶湖の流域面積が95パーセント以上を占める滋賀県の地域特性をかけて名づけられました。環境にこだわった地域づくりを行う人々の集まりです。

深山遥香さんが 全国図書館協議会 会長賞を受賞

青少年読書感想文 全国コンクール 表彰式



このほど行われた第52回青少年読書感想文コンクールで甲南第二小学校4年の深山遥香さんが全国図書館協議会会長賞を受賞されました。

このコンクールは、子どもや若者が本に親しむ機会をつくり読書の楽しさや素晴らしさを体験してもらおうと開催されているもので、今回のコンクールには、過去最多の436万2025編の応募がありました。

今回深山さんは、ひいおばあちゃんの「いんちゃん」が亡くなられた時に出会った一冊の本「『生と死』について考えよう」を読み、感想をまとめられたもので、初の受賞となりました。おめでとうございます。

これからも多くの本との出会いを大切にしてください。

▲竣工式で祝辞を述べる中嶋市長



▲注意書きなども作りました。



ふる里が誇れる村づくりを進める甲南町柑子区で公民館の改築工事が完了し、2月11日(日)に竣工式が行われました。

竣工式には、関係者や地元住民約110名が出席、みんなが気軽に集える広場の完成を祝いました。

また、当日は中嶋市長も「柑子区民の絆をより深く結んでいただくための拠点施設となることを期待しています」と祝辞を述べ、皆さんともに完成を喜びました。

柑子公民館は、旧公民館の老朽化が進むとともに住民の高齢化が進み、施設のバリアフリーを求める声が高くなったことから改築事業を進められていたもので、新たな交流拠点として整備されたものです。

なお、本事業はコミュニティセンター助成事業として宝くじ収益金の一部が活用されています。



▲竣工式で祝辞を述べる中嶋市長

みんなできげに集える広場へ

新しく柑子公民館が完成



給食週間の取り組み
これからも
おいしい給食を
つくってね

毎年1月24日から30日までの全国学校給食週間にあわせ、1月24日(水)から27日(土)まであいこうが市民ホールで学校給食展が行われました。

この給食展は給食の意義や食育の大切さを知ってもらおうと毎年行っているもので、小中学校の食育への取り組みや、昔懐かしい給食のレプリカ、当日の給食などが紹介されました。

また1月31日(水)には柏木小学校で給食感謝祭が行われました。会場となった体育館では給食に関するクイズや児童から給食センターへ「給食を作るのにどれくらいのかかるの時間がかかりますか?残った給食はどうなるのですか?」といった質問が投げかけられ、栄養士などがわかりやすく説明しました。

日常にげなく食べている給食ですが学校へ届くまでいろいろな手により栄養や量のバランスを考えられていることがこの給食週間の取り組みを通して学んだことのひとつではないでしょうか。



▲給食に使われている地産野菜などが展示されたあいこうが市民ホールの会場

どんなビオトープになるかな?



②生物をとりに行く

10月、3年生110名が野洲川へ魚や水生昆虫を採取しに行きました。初めて川遊びをした子もあり、みんな大騒ぎでした。昔からの琵琶湖の固有種のみを池に入れることに。「失敗もしながらの学習を進めたい」と担当の田村先生



平成18年夏休み

①工事の完成

「感性を培い、磨く“感動体験の場”になってくれれば」と小川校長先生



水口小学校のグラウンド東側の隅に、完成した小さな池。これは、昨年の夏休みに作られた「ビオトープ」という池です。城山の伏流水を利用し、できるだけ自然に近い状態になるよう3年生を中心に学習を進めています。

みんなが「こころよー! わたしたちの」
水口小学校・環境学習の取り組みから
まちかど特派員●杉山 祐子